



毎月第3主日は日本キリスト教団の定めた「日本伝道の推進を祈る日」です

共に祈るために

全国17教区が取り組んでいる伝道の働きを2教区（東京は支区）ずつ紹介します。全国の教区・教会・伝道所を覚えて祈りをあわせましょう。

献金についての問い合わせは
日本基督教団事務局まで（TEL 03-3202-0541）

日本基督教団伝道推進基本方針

- 祈祷運動 共に祈ろう
- 信徒運動 共に伝えよう
- 献金運動 共に献げよう

「日本基督教団全国伝道推進献金」
振替口座 00140-7-293436

東北教区

震災の影響残る2014年度、教区宣教部と教区センター「エマオ」との共催で若者のための活動が始まりました。初年度だけで7つの行事が企画され、当時の教区報には、「礼拝、教会堂と敷地の整備、……語り合いが、青年の主体で展開されました。教区にこんな日が訪れるとは、つい最近まで誰が想像できたでしょう」とあります。

翌15年には宣教部の下に、若者主導で「青少年プログラム小委員会」が発足。以前から有志が実施していたCS生徒大会の中高生部門や会津地区でのワークキャンプと融合してイベント数は倍増、「東北ユース」の愛称も生まれました。教団教育委員会がつなげる教区間の交流も貴重でした。

「東北ユース」の特徴について、若者たちの声を拾ってみました。「教会外からも参加者が多い」。友人やきょうだいに誘われて、またキリスト教学校の勧めで、初めて教会に足を踏み入れる若者たちが毎週あります。そこから教会につながったり、献身に至る者もいます。

「参加費が安い!」。家庭の事情を考慮し、宿泊行事も参加費を2千円〜6千円に抑え

ています。

「教区の外とつながっている」。里帰りを兼ねて遠隔地から、交流が盛んなSCF（学生キリスト教友愛会）から、と毎回多彩な顔触れです。台湾基督長老教会（PCT）の若者とも交流があります。

時代ゆえか学校や社会で生きづらさを抱えるメンバーも増えました。逆に東北ユースでは安心して過ごせる、自分を出せる、と口をそろえます。全参加者が平等に活躍できる空間が生まれ、期せずして社会的な交わりが展開されつつあります。主のなさる業は人の思いを超え、東北の地に広がります。コロナ明けの展開も楽しみです。

（東北教区宣教部委員長 荒井偉作）

関東教区

関東教区は高校生や青年たちが教会や地区を超えて出会い、さまざまな体験や学びを行う機会を提供することを願っています。励まし合い共に成長することが、信仰を養う機会となるからです。

今年3月20日から22日、「KKS（教会・高校生・青年）沖繩キャンプ2023」を実施しました。3年前、新型コロナウイルスの感染拡大により延期したものです。当時の高校生3名がそろって沖繩へ行く最後のチャンスと思い、決行しました。参加者からは、「当初は教会につながる同年代の子と出会いたいと思っていたが、沖繩の歴史を沖繩で知りたいという思いが変わった」



辺野古の海を船で体験する「KKS 沖繩キャンプ2023」の参加者たち

「教会で沖繩の話聞く中で、沖繩の歴史を学びたい。今の沖繩を知りたい。自分の目で知りたい、学びたいと思った」という参加動機も聞くことができました。

1日目は、戦跡めぐり。夕方からは普天間基地ゲート前のゴスペルを歌う会に参加しました。2日目は辺野古に行き、日頃から辺野古で新基地反対のための海上行動で船長をしている金井創さん（佐敷教会牧師）や國分美生さん（沖繩バプテスト連盟牧師）、野間光顕さん（沖繩キリスト教学院大学特任講師）から、なぜ新基地反対運動をするのか、どのような活動をしているのか、また沖繩の現状をお話いただきました。船に乗り、美しい辺野古の海を感じる時も持ちました。

2泊3日という短い時間でしたが、沖繩のかつての戦争とともに、今の沖繩の痛みに触れる貴重な機会となりました。参加者からは、「他人事ではなくなった」「沖繩の海が隣人となった」など、しっかりと沖繩に向き合ったからこそ感想がありました。高校生や青年たちが実際に外かけて行き、体験する機会を失った3年間でした。関東教区は今後もそのような青年たちの活動をしっかりサポートしていきたいと思えます。

（群馬・桐生東部教会牧師 三浦啓）



2022年夏、猪苗代でのワークキャンプ。奉仕作業の合間の一コマ

祈りの課題

関東教区

- 互助のためのナルドの壺献金運動を通して、受給教会の伝道の前進を。
- コロナ禍のために疲弊した教会・伝道所を支え、共に伝道に仕える。
- 豪雪地の伝道の上に。特に雪害に遭っている妙高高原教会のために。

郵便振替 00140-3-67727

「日本基督教団関東教区」

東北教区

- 対面での青年層の活動が、コロナ禍で停滞しました。教区全体で若者を育てる再出発となりますように。
- 十数年ぶりに礼拝が再開された浪江・小高両伝道所の宣教が地域の方々との交流で祝されますように。

郵便振替 02200-7-9490

「日本基督教団東北教区」